

平成 30 年 4 月 13 日

古河電気工業株式会社

株式会社 UACJ の役員人事について

本日、当社の持分法適用関連会社である株式会社 UACJ が、本年 2 月 27 日に発表した本年 6 月 21 日付役員人事（以下「原人事案」といいます）の一部を修正する旨の発表を行いました（本日発表された修正後の人事案を以下「修正人事案」といいます）。

当社は、原人事案の一部に賛成しかねる点があったことから同社に再考を求めておりましたが、本日発表された修正人事案は、原人事案の発表以降、数度にわたる両社トップ間の協議を経て本日開催の同社取締役会で決議されたものであり、当社といたしましても、修正人事案記載の候補者を取締役および監査役として選任することに異論はなく、これを全面的に支持するものであることとお知らせいたします。

修正人事案では、山内重徳代表取締役会長および岡田満代表取締役社長が取締役を退任する一方、豊富な企業経営経験者 2 名を新任社外取締役候補者としております。その結果、取締役総数の 1/3 を社外取締役が占めることになり、意思決定の客観性、透明性の向上に寄与するものと評価しております。特に、コーポレートガバナンスに優れているとの定評のある企業において非執行の取締役として、役員人事や役員報酬に関する任意の委員会の委員・副委員長を歴任された方を新任社外取締役候補者としたことは、UACJ における実質を伴ったコーポレートガバナンスの強化に大いに資するものと期待しております。

また、社外監査役候補者についても一部見直しが行われ、企業経営の経験もある弁護士の方と、大手監査法人において永年にわたる監査経験のある公認会計士の方を新任社外監査役候補者に加えたことは、法律や財務・会計に関する専門的な観点から監査の充実・強化を図るうえで有用であると評価しております。

当社といたしましては、石原美幸新社長率いる執行部が、取締役会等の場において社外役員の見解を傾聴、尊重し、議論を尽くして経営に当たられることによって、適切なコーポレートガバナンス体制の下、UACJ の業績および財務体質の改善、企業価値の向上が実現することを期待し、株主の立場から見守ってまいりたいと考えております。

以 上